

平成27年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	歩道等整備事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	1	4	○
政策	23安全に暮らせる社会システムをつくれます	担当課室	道路河川管理課			
施策	231交通安全の推進	担当課室長	若泉哲也			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	第2次歩道等整備5箇年計画の計画実行と来年度の計画策定準備。	③平成27年度に取り組む改革・改善内容	第2次歩道等整備5箇年計画の最終計画年となるため、これまでの検証と新計画策定。
②①に基づく取り組み結果	平成27年度に向けた計画策定準備を行った。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	歩行者と車両の動線が輻輳している箇所	意図(対象をどうするのか)	交通事故の減少
②事務事業の概要	歩道等整備5箇年計画に基づき、道路区画線及びカラー舗装の整備を行うとともに、道路照明灯・ガードレール・道路反射鏡・道路標識等の交通安全施設の整備を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	市民意識調査にて、交通安全対策への不満足度は40%、重要度は82.8%と市民の関心は高い状態にあるが、市内の人身事故は減少傾向にある。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成26年度の事業の成果	区画線設置6285m、カラー舗装154.7㎡、道路反射鏡設置26基、道路照明灯設置2基						
②成果を表す指標	指標名称		平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	算定根拠
	i	交通事故発生件数	535	487	440	件	業務取得
	ii	人口千人当たりの交通事故死傷者数	5.9	5.3	4.6	人	業務取得
	iii						
③事務事業のコスト	平成25年度決算	平成26年度決算	平成26年度決算(事業費)の主な内訳			平成27年度予算	
事業費(千円)	19,943	20,544	金額(千円)	内容		15,000	
国支出金(千円)	3,300		291	委託料		0	
県支出金(千円)	0		20,253	工事請負費		0	
市債その他(千円)	0					0	
一般財源(千円)	16,643	20,544				15,000	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	歩道設置には予算と時間が必要なため、本事業による新規対策箇所は増加すること及び対策済み箇所の維持管理費用も増加することが予想される。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	道路の機能管理面から安全確保をする責務があるため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成26年度の計画	道路区画線、道路反射鏡の整備、道路標識・交通看板整備	平成26年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	道路区画線、道路反射鏡の整備、道路標識・交通看板整備	20,572	20,572	当初	20,572	20,544	H25からの繰越	0
				H25⇒26繰越			現年分	20,544
③達成状況	完了							
④未完了・非着手の理由		平成27年度への繰越額(単位:千円)						
		0						

平成27年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	交通安全施設更新事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	1	4	○
政策	23安全に暮らせる社会システムをつくれます	担当課室	道路河川管理課			
施策	231交通安全の推進	担当課室長	若泉哲也			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	道路付属施設のうち、大型案内標識の点検調査を行う。	③平成27年度に取り組む改革・改善内容	道路付属施設の点検方法について検討を行う。
②①に基づく取り組み結果	全ての大型案内標識(8基)の点検調査を行い、良好な状態を確認した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	道路照明灯・道路反射鏡等の安全施設	意図(対象をどうするのか)	更新を行い、全ての人が安心して、道路を通行できるようにする。
②事務事業の概要	経年劣化により老朽化した各種安全施設(道路照明灯・道路反射鏡等)の更新を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	道路施設の点検が法令で義務化されるなど、老朽化対策として事後保全型から予防保全型の維持管理方式への転換に対応する必要がある。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成26年度の事業の成果	○道路照明灯更新 16基                      ○道路反射鏡更新 0基 ○大型標識点検調査 8基						
②成果を表す指標	指標名称		平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	算定根拠
	i	交通事故発生件数	535	487	440	件	業務取得
	ii	人口千人当たりの交通事故死傷者数	5.9	5.3	4.6	人	業務取得
	iii						
③事務事業のコスト	平成25年度決算	平成26年度決算	平成26年度決算(事業費)の主な内訳			平成27年度予算	
事業費(千円)	10,804	5,910	金額(千円)	内容		5,000	
国支出金(千円)			227	委託料			
県支出金(千円)			5,683	工事請負費			
市債その他(千円)							
一般財源(千円)	10,804	5,910				5,000	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	市民要望やパトロールにより随時行う補修・更新と並行して、老朽化対策として事後保全型から予防保全型の維持管理への対応。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	法定管理者の責務として機能維持に努めることが必要なため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成26年度の計画	道路照明灯調査・工事	平成26年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	道路照明灯調査・工事	7,175	5,910	当初	7,175	5,910	H25からの繰越	0
				H25⇒26繰越	0		現年分	5,910
③達成状況	完了			補正	0			
④未完了・非着手の理由				流用・充当	-1,265			
				平成27年度への繰越額(単位:千円)		0		

平成27年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	道路維持・補修事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	2	2	〇
政策	32都市活動を支える交通網整備を進めます	担当課室	道路河川管理課			
施策	321安全でゆとりある道路の整備	担当課室長	若泉哲也			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	法定点検に対応するためのしくみ検討。	③平成27年度に取り組む改革・改善内容	法定点検に対応するためのしくみ検討。
②①に基づく取り組み結果	橋梁において、跨線橋の点検に係る条件整理を行った。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	老朽化し、損傷した市道の舗装及び道路付帯施設	意図(対象をどうするのか)	市民の安全性・利便性の確保
②事務事業の概要	市民要望や市内パトロール等により得た情報を元に、調査・検討を行い必要に応じて道路補修を実施する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	道路施設の点検が法令で義務化されるなど、老朽化対策として事後保全型から予防保全型の維持管理方式への転換に対応する必要がある。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成26年度の事業の成果	○道路補修・清掃委託    ○排水管(溝)清掃委託    ○未舗装道路補修委託 ○道路維持工事						
②成果を表す指標	指標名称		平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	算定根拠
	i	「道路の状況」満足度	16.3	14.5	-	%	市民意識調査
	ii	道路パトロール日数	104	128	128	日	業務取得
	iii						
③事務事業のコスト	平成25年度決算	平成26年度決算	平成26年度決算(事業費)の主な内訳			平成27年度予算	
事業費(千円)	268,716	218,937	金額(千円)	内容		144,398	
国支出金(千円)	83,320	25,822	764	報償費		25,455	
県支出金(千円)			62,766	委託料			
市債その他(千円)		44,300	155,407	工事請負費			
一般財源(千円)	185,396	148,815				118,943	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	市民要望やパトロールにより随時行う補修・更新と並行して、老朽化対策として事後保全型から予防保全型の維持管理への対応。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	法定管理者の責務として機能維持に努めることが必要なため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成26年度の計画	道路及び排水管の清掃、維持補修工事・道路施設の点検	平成26年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	道路及び排水管の清掃、維持補修工事・道路施設の点検	213,365	221,755	当初	201,015	218,937	H25からの繰越	3,175
				H25⇒26繰越	4,000		現年分	215,762
③達成状況	完了			補正	14,350			
④未完了・非着手の理由				流用・充当	2,390			
				平成27年度への繰越額(単位:千円)			0	

平成27年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	人孔蓋更新事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	2	2	○
政策	32都市活動を支える交通網整備を進めます	担当課室	道路河川管理課			
施策	321安全でゆとりある道路の整備	担当課室長	若泉哲也			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価の掲げた内容	(平成26年度に事業化され、前回評価がないため内容に記載はありません。)	③平成27年度に取り組む改革・改善内容	(平成26年度に事業化され、事業完了したため、平成27年度に取り組む事項はありません。)
②①に基づく取り組み結果	(平成26年度に事業化され、前回評価がないため内容に記載はありません。)		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	人孔蓋	意図(対象をどうするのか)	通行者や通行車両の事故防止を図る
②事務事業の概要	劣化した人孔蓋を浮上防止装置付きの铸铁蓋へ交換する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	通行者や通行車両の事故防止を図るため、道路管理者が管理している経年劣化したマンホール蓋を当初100箇所予定していたことに対し、96箇所の実施したことで事故を未然に防止することができた。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成26年度の事業の成果	舗装構成2層:20箇所 舗装構成1層:76箇所					
②成果を表す指標	指標名称		平成24年度	平成25年度	平成26年度	算定根拠
	i	劣化した人孔蓋の交換			96箇所	業務取得
	ii					
	iii					
③事務事業のコスト	平成25年度決算	平成26年度決算	平成26年度決算(事業費)の主な内訳		平成27年度予算	
事業費(千円)	0	14,392	金額(千円)	内容	0	
国支出金(千円)			14,392	人孔蓋の交換工事		
県支出金(千円)						
市債その他(千円)		10,800				
一般財源(千円)		3,592				

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	市民要望等がある場合、当面の間は、維持パトロールで対応とする。				
②評価	i 市関与の妥当性	2普通	iii 公平性	2普通	v 総合評価 1終了
	ii 有効性	2普通	iv 効率性	2普通	
③上記評価の理由	人孔蓋の老朽化による、主な危険箇所の交換処理を終了した。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成26年度の計画	工事	平成26年度事業費の状況(単位:千円)					
		計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	劣化した人孔蓋を浮上防止装置付きの铸铁蓋へ交換する。	14,400	14,400	当初	14,400	H25からの繰越	0
				H25⇒26繰越			
③達成状況	完了			補正		現年分	14,392
④未完了・非着手の理由				流用・充当			
平成27年度への繰越額(単位:千円)							0

平成27年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	流域環境整備事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	3	2	○
政策	22快適な暮らしの環境をつくります	担当課室	道路河川管理課			
施策	223うるおいある河川・水路の整備	担当課室長	若泉哲也			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	現状施設の機能維持及び転落による事故防止のための柵の設置を行う。	③平成27年度に取り組む改革・改善内容	河川施設の点検方法等について検討を行う。
②①に基づく取り組み結果	準用河川において転落防止のためのフェンスを25m設置した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	河川、水路、調整池	意図(対象をどうするのか)	施設の機能維持
②事務事業の概要	河川、水路、調整池の適正な管理を行うため、除草・清掃やパトロールの委託を行うとともに、必要な補修工事を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	施設の老朽化が進んでおり、大規模な修繕とともに、施設を長持ちさせるための対策が見込まれる。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成26年度の事業の成果	○河川管理委託      ○河川・水路清掃委託      ○スクリーン清掃委託 ○河川・水路維持工事						
②成果を表す指標	指標名称		平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	算定根拠
	i	河川・水路に対する満足度	11.1	13.8	-	%	市民意識調査
	ii	河川・水路除草面積	50,164	50,164	48,826	m <sup>2</sup>	業務取得
	iii						
③事務事業のコスト	平成25年度決算	平成26年度決算	平成26年度決算(事業費)の主な内訳			平成27年度予算	
事業費(千円)	35,730	70,247	金額(千円)	内容		27,750	
国支出金(千円)	0	0	26,604	委託料		0	
県支出金(千円)	0	0	43,642	工事請負費		0	
市債その他(千円)	0	0				0	
一般財源(千円)	35,730	70,247				27,750	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	施設の老朽化に伴う大規模な修繕や長持ちさせるための対策。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	法定管理者の責務として機能維持に努めることが必要なため					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成26年度の計画	河川・水路の維持工事	平成26年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	河川・水路の維持工事	50,724	70,324	当初	44,724	70,247	H25からの繰越	19,600
				H25⇒26繰越	19,600		現年分	50,647
③達成状況	完了			補正	6,000			
④未完了・非着手の理由				流用・充当	0			
		平成27年度への繰越額(単位:千円)				0		